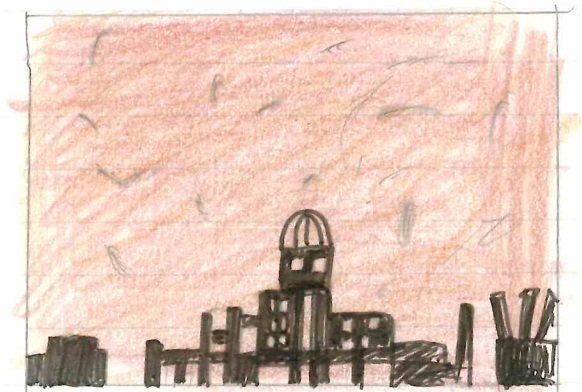
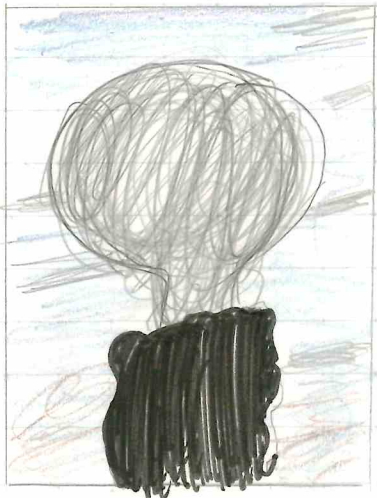


原爆

～忘れてはいけないあの日～



もくじ

- 2 ~ 調べようと思ったきっかけ
- 3 ~ なぜ落とされた？
原爆を初めて聞いた頃の予想
- 4 ~ 死んだ街ーヒロシマ
- 5 ~ 死んだ街ーナガサキ
- 7 ~ 「被爆者」のこえ
- 8 ~ 残された詩
- 10 ~ 調べた感想
- 11 ~ 参考本の情報

調べようと思、たき、かけ

私が「原爆」について調べようと思、たき、かけは、主に4つあります。

1つ目は、学校の授業で原爆などの歴史を学んだ際、とても胸が苦しくな、たのを覚えているからです。

2つ目は、8月5日～8月10日の間にタワーホール船堀で開催された“原爆展”に足を運んだことです。

原爆展では、当時の様子を全て絵に描いたものが展示されていました。また、原寸大の爆弾のパネルが置いてあったりしました。それらを見た時、絵でもこんなに残酷なことが伝わ、てくることへの衝撃と苦しみを感じたからです。

3つ目は、日本人として知らないわけにはいかないと自分自身で思、ているからです。「その時代に生きていないから」「東京に住んでいるから」と知ろうとしない選択肢はなく、日本人として知、ておいた方が良い出来事、忘れてはいけ、ない出来事だと感じ、もっと詳しく調べようと思、いました。

4つ目は、今年で終戦から80年だからです。

私も中学3年生にな、て、このようなことも自分で調べ理解できる年齢になりました。

なので自らとら、いた歴史に理解を深めようと思、たからです。

なぜ落とされた？

1945年3月に東京大空襲が起こり、約8万人が犠牲になり、その後、アメリカ軍が沖縄を占領。日本が不利な状況となったところでポツダム宣言が発表されるが、日本はそれを黙殺した。なぜなら無条件降伏だ、だからであるからです。

そうすると、1945年8月6日に広島、8月9日に長崎に原子爆弾が投下されました。

日本は、ポツダム宣言を受諾し、1945年8月15日に太平洋戦争は終わりを迎えました。

原爆を初めて聞いた頃の予想

私が初めて原爆のことを耳にしたのは、小学5年生の頃でした。

その頃の私は、爆心地にいた人々のみが亡くなってしまうのだらう。そう思っていました。

今となっては分かったことは、その頃の私の考えは甘かったことです。

死んだ街ーヒロシマ

1945年8月6日午前8時15分。広島市の上空で、人類史上はじめて米空軍によって実戦使用された原子（ウラニウム）爆弾が投下されました。

爆発点は広島市のほぼ中心にあった島病院の上空580±20メートルで、その爆発のエネルギーはふっうのTNT火薬に換算して12.5±1キロトン相当と推定されています。原子爆弾は、爆発と同時に、小さな太陽ともいうべき巨大な火の玉となって、強烈な熱線と放射線を四方八方に放ち、まわりの空気に急速な大膨張をおこさせて、台風をものぐ強圧の爆風を生みだしました。このとき発生したエネルギーのうち約15%が放射線、約35%が熱線、残りの50%が爆風のエネルギーになったといわれています。

その結果、広島市では31万~32万人の人々と4万人を超える軍人が、直接その原爆の被害を受けたのです。そのうち1945年末までに約14万人が死んでしまいましたが、その90%が2週間以内に死亡されたと推定されています。

当時、広島市にあった建物は約76,000戸。それらの92%が爆風と火災によって焼失または破壊されました。広島は平野地であるため、その被害は同心円状にほぼ全市に及び、爆風の威力は大きく、爆心から5キロメートルの地域でも60%の建物に相当の被害をあたえ、使用できる建物は、わずかに市内周辺の、6,180戸（8%）にすぎなかったといわれています。

こうして、原子野と化してしまった広島総面積は、約13平方キロメートルでした。

死んだ街ーナカサキ

1945年8月9日午前11時2分。史上2発目の実戦用プルトニウム原爆が長崎市上空で爆発しました。市内北部、松山町170番地の上空約500±10メートル、その威力は22±2キロトンであったと推定されています。

爆発と同時に空中に発生した火球は、初期の瞬間温度が数百万度といわれ、1万分の1秒後で約30万度、1秒後には直径が最大の約280メートルとなり、その時の表面温度は約5000度だったと計算されています。こうして、原爆は約10秒間小さな太陽となって、燃えさかたのです。

この火球から発生した強烈な熱線は人々を焼き、家々に火を放ちました。爆心地から1.2キロメートル以内で、さえぎるものがなく直接熱線をあびた人々は致命的な熱傷を受け、死者の20~30%がこの熱傷によるものだったと推定されています。長崎では約4キロメートル、広島では約3.5キロメートルまでの人々の露出した皮膚が熱傷を受けています。

原爆が作り出した熱線、放射能、爆風によって、長崎市での直接被爆者は27万~28万人にのぼり、そのうち約7万人が、1945年末までに死んでしまいました。その死亡者の距離別にみると、500メートルの爆心地域内では90%以上、1キロ以内では80%以上が即日死、または直後に死亡、1.5キロメートルでも50%近い人々が死んでいったと推計されています。

長崎の被爆中心地域は、繁華街から離れた北部の山で
囲まれた細長い地形でした。そのため、原爆の威力は
広島より大きかったにもかかわらず、被害は比較的少
なくてすんだものの、それでも3分の1以上の建物が
破壊され焼失し、その総面積は、約6.7平方キロメ
ートルに及びました。



「被爆者」のこえ

山岡ミナコさん

青春を原爆にうばわれ、結婚もしないで被爆後の60年を生きた山岡さん。

「何よりも、この地球上から戦争をなくすことが大切。私たちが生きているこの日本が再び戦争をする国にならないようにみんなであらうていかなうては...」

「広島・長崎の被爆者の悲劇を繰り返さないために、
そしてこの世から核兵器をなくすために、命ある限り
訴え続けていきたい。」

林京子さん

21世紀を生きるわたしたちへこんな言葉を。

「穢れのない、輝いている美しい目を持っている若い
あなたたち、日本は永久に戦争を放棄する、と明確に
記した平和憲法があります。その澄んだ目で、透明な
思考で、大事に、大事に平和憲法を守ってください。
あなた自身のために。産まれてくる新しい生命のため
に。お願いします。」

生ましめんかな 栗原貞子 さん

こわれたビルディングの地下室の夜だった。
原子爆弾の負傷者たちは
ローソク一本ない暗い地下室を
うずめて、いっぱいだった。
生ぐさい血の匂い、死臭。
汗くさい人いきれ、うめきごえ
その中から不思議な声が聞こえて来た。
「赤ん坊が生まれる」と言うのだ。
この地獄の底のような地下室で
今、若い女が産気づいているのだ。
マッチ一本もないくらがりで
どうしたらいいのだろう
人々は自分の痛みを忘れて気づかった。
と、「私が産婆です、私が産ませましょう」
と言ったのは
さっきまでうめいていた重傷者だ。
かくてくらがりの地獄の底で
新しい生命は生まれた。
かくてあかつきを待たず産婆は
血まみれのまま死んだ。
生ましめんかな
生ましめんかな
己が命捨つとも

栗原貞子

- ・ 広島市生まれの詩人・歌人。
- ・ 被爆直後、爆心地より4kmの自宅から入市
- ・ 反核運動に参加。

学徒 中川美苗さん

勤買学徒の友達に

山こえ 谷こえ、生きのがれ

次々 黄色の水を吐いて

とうとう動けなくなつた

時々 しやがんで行く友が

だんだん小さくなってゆく

だんだん遠くなってゆく

ふりかえり ふりかえり あゝあゝ

コレが人間ナノデス 原民喜さん

コレが人間ナノデス

原子爆弾ニ依ル変化ヲゴラニ下サイ

肉体が恐ロシワ膨張シ

男モ女モスベテーツノ型ニカヘル

オオ ソノ真黒焦ゲノ滅茶苦茶ノ

爛レタ顔ノムクニダ唇カラ洩レテ来ル声ハ

「助ケテ下サイ」

ト カ細イ 静カナ言葉

コレが コレが人間ナノデス

人間ノ顔ナノデス

中川美苗

- ・ 軍事工場で被爆
- ・ この作品は1980年
「長崎原爆の歌」に応募
したもの

原民喜

- ・ 広島市生まれの詩人。
- ・ 爆心地より1.4kmの兄
宅で被爆。
- ・ 朝鮮戦争で再び原爆
が使用されるのを恐れ、鉄道自殺。

調べた感想

各市の死者をあまり詳しく知らずに数字を目にした時本当に衝撃を受けました。自分が思っていたよりもはるかに上で、こんな多くの人々が一瞬にして被爆したと考えるととても悲しいです。

写真などを見ながら調べたのですが、すごく胸が苦しくなり、涙が出てしまうようなものもありました。

本当にそれらの写真は悲しいものでした。親を亡くしてしまった子どもの写真は、この先この子たちはどう生活するのだろうか考えるだけで苦しかったです。

爆弾の大きさも予想以上でとてもびっくりしたし、そんな大きさの爆発物を投下したのはなぜか、アメリカ軍に聞きたいくらいです。なぜ罪のない人々も殺してしまうのか分かりません。いまだ止まりません。また、原爆を投下して正解だったと言う人がいますが、それはなぜなのかも知りたいと思いました。

私たちにできることは、より深くこの出来事を知り、関心を持ち、「**被爆者の方々の想いを受け継ぐ**」ことだと、今回の学習で思いました。

私は、大人になったら広島・長崎へ行き、もっともっと詳しく知り、想いを継ぎたいと心の底から感じています。

これが1人でも多くの人に届けばいいなと思います。

参考本の情報

①書名 原爆写真 1 - モア ヒロシマ ナカサキ

著者名 黒古一夫・清水博義

出版社名 株式会社 日本図書センター

出版年 2005年3月25日

使用ページ P19, P38, P40, P70, P76

図書館名 江戸川区立葛西図書館

請求記号 25-0041142-5

②書名 原子爆弾の記録ヒロシマ・ナカサキ〈復刻版〉

著者名 子どもたちに世界に！被爆の記録を贈る会
・編集企画委員会

出版社名 株式会社三省堂

出版年 2004年8月13日

使用ページ P.71 P167.

図書館名 江戸川区立葛西図書館

請求記号 25-00386271-4